



## 150周年の運動会を頑張りました

5月25日(土)は、好天に恵まれ、150周年記念の運動会を実施することができました。保護者の皆様、ご参観ありがとうございました。

「150周年の歴史を胸に 友へ未来へバトンをつなげ」のスローガンのもと、子どもたちは、一生懸命運動会に取り組みました。開会式で、私は「し・お・み」で頑張ることを伝えましたが、その通りの姿を見ることができました。転んでも、バトンを落としても最後まで走り切る姿、演技中、応援団を中心に手拍子や声でみんなを鼓舞する姿、団体種目や表現種目、係活動で協力する姿、さすが潮見っ子だなと思いました。

1年生は、小学校で初めての運動会。走ったり踊ったりすることを楽しんでいる様子が見られました。2年生は、みこしの箱を落とさないように協力しながら運んでいる姿が印象的でした。3年生は、表現種目において笑顔で旗を振り、体全体を使って踊っていました。4、5年生は、潮見音頭を踊り、潮見小学校が地域に根差した学校であることを表現しました。潮見音頭だけでなく現代的なダンスも取り入れていたのもよかったですと思います。6年生のリレーやソーラン節は、大変迫力がありました。小学校生活最後の運動会にふさわしい立派な姿でした。

応援合戦では、団長3人が一緒に声を出して全校でウェーブを行い、150周年を盛り上げていました。

団体種目の中に150周年を入れる学年もありました。運動会を通じて、全校で150周年を祝うことができました。



校長室だより8号では、「運動会で何を学ぶか」ということをお伝えしましたが、子どもたちは、きっとたくさんのことを学んでいたと思います。その学びを今後に生かしてこそ、運動会がより意義深いものになるはずです。今後の子どもたちの活躍に期待をしています。

運動会で勝つことは、個人的には二の次、三の次だと思っています。しかし、運動会をしている子どもたちにとっては、勝つことは一大事。勝つ喜びをみんなで分かち合うことも、学びの一つかもしれません。最後に、優勝したミカジローの応援団長のガッツポーズ(右写真)をお伝えして終わりにします。どの組も本当によく頑張りました。

※保護者の皆様には、準備や片付け、マナー

を守ってのご観覧、ありがとうございました。近隣の皆様には、約1か月間、運動会練習にご理解、ご協力いただき、感謝申し上げます。

